

NPO法人ホッピング

令和2年度 活動報告書



●今年度を振り返って

新型コロナウイルスの感染拡大が明らかになってから早くも2年近くが経過しようとしています。今年度計画していた事業もコロナ禍により、一部思うようにできないこともありました。今年度もたくさんの方々のご支援、ご協力のおかげで、和歌山の子育て世代に対して、様々な支援を行うことができました。

親子で気軽に交流できる場となっている「ドレミひろば」では、4月より祝日も開所し、平日は16時までと開所時間を延長し、さらに利用しやすい広場になりました。今年度から、ドレミひろばの拠点だけにとどまらず、コロナ禍でなかなか子どもといっしょに出かけることが少なくなった保護者同士が交流できるよう、和歌山市内のコミュニティセンターなどで「おしゃべり広場ホッピング」を開催し、たくさんの親子に参加していただいています。

また子どもと一緒に参加できる学びの場の提供、子育て期間を経て働き始める一歩手前の支援、ママ講師®事業、ご寄付による託児費用のサポート基金の創設など、今年度もさまざまな事業に取り組んできました。

この1年の活動をまとめましたので、ご一読いただけますと幸いです。

～ホッピングは10周年を迎えます～

2011年に任意団体として設立したホッピングですが、2021年10月に10周年を迎えます。数ある団体の中からホッピングを賛助・応援して下さっている皆さまのお力添えにより活動できていること、ほんとうに感謝しております！

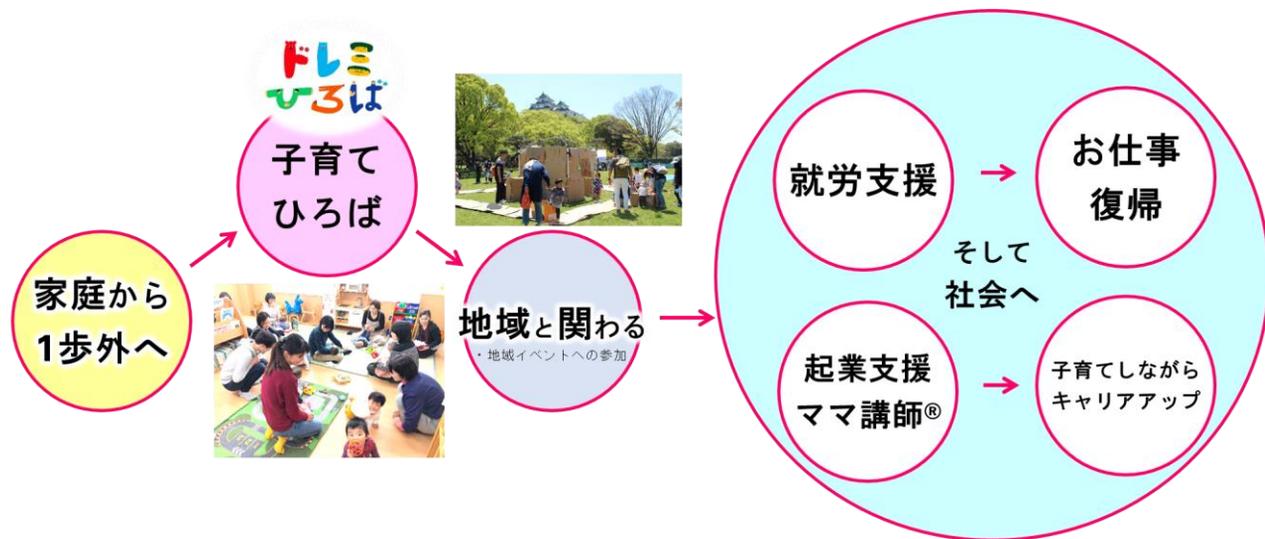
今後ともホッピングや地域のママたちのご支援よろしく願いいたします！

コロナが落ち着いた日には、会員の皆さまと一緒に盛大に10周年記念イベント開催したいです☆一日もはやく平穏な日々が来ることを祈っています！

●ホッピングが目指す社会

私たちは、地域社会とママ達をつなぐ活動をしています。「家庭から地域へ」「地域から社会へ」と、ママたちがソフトランディングしていけるようにサポートをしています。

ママたちが「自分らしくいきいき」と社会へ戻っていけるような、子育てしながら社会参画できるような地域社会をめざし活動しています。



●ホッピングが行うこと

- 親子が気軽に集える広場の提供活動
- 子育て相談と情報交流活動
- 親子教室および講座の企画、運営事業
- 女性の就労支援事業（保活・両立支援）
- ママ講師®運営事業
- 養育支援訪問事業育児・家事援助業務（和歌山市より受託）
- 企業に向けた保活支援・定着支援サービスの提供

ママ達の社会参加からの社会復帰のサポートを継続的に行っていきたいと思っています。これらの活動は国連「SDGs（持続可能な開発目標）」で定められている目標にも合致します。子育て支援を通し、公共機関、他団体や民間企業とパートナーシップを組み、持続可能な地域社会を創ることを常に意識し、活動していきます。

子育て以外の団体とも交わり、他団体との情報のシェアや協力をしていき、地域全体で子育て支援、ママ支援ができる環境作りを行っていきます。



5 ジェンダー平等を
実現しよう



8 働きがいも
経済成長も



11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



● 親子が気軽に集える広場の提供活動

平成27年4月より和歌山市より委託を受け「地域子育て支援拠点（つどいの広場）事業」として「ドレミひろば」を開設し、今期も継続して運営しています。

月・火・木・金・土の週5日開所に加え、今年度より祝日も開所し平日は16時までと昨年度より1時間多く遊べるようになり、さらに利用しやすいつどいの広場になりました。今年度は事前予約や入室組数限定がなくなったので、昨年に引き続き新型コロナウィルス感染予防対策を万全にしつつ開所しています。

【ドレミひろば来所数】

令和 2年4月～令和3年3月の期間	201組	年間延べ利用者数	2,842人
令和 3年4月～令和3年9月現在	218組	延べ利用者数	2,191人

(感染症対策によりR2年4月～6月まで休所期間あり)

● 子育て相談と情報交流活動

【子育て相談】

・利用者さんとの日常の会話からくみ取れる相談だけに関わらず、例年とは違ったコロナ禍ならではの『不安や悩み』『ママ自身のストレス』を抱えている方が多く、スタッフ間でそれぞれの情報を共有をしながら対応にあたりました。

【情報交流活動】

初回来所の際や利用者との会話の中で必要とされている情報をくみ取りながら、ニーズに応じた相談窓口、施設やイベント等、様々な情報提供を行いました。

サイズアウトして不要になったこども服を持ち寄り「おさがり交換会」なども開催しています。環境にも配慮したイベントということで、とても好評です。



おさがり交換会の様子



● 親子教室および講座の企画、運営事業

・新型コロナウィルス感染拡大防止のため、昨年はやむなく中止になっていた【ドレミふれあいじかん：ベビーマッサージ】や【えいごであそぼ！】などの開設当初から需要の多い人気イベントを徐々に開催することができました。

今年度より地域のコミュニティセンターや公園に出向いて行う【とびだせ！ドレミひろば】など、親子で楽しめる様々な親子教室・講座を企画。講師には、外部より委託の講師のほか、ホッピング登録のママ講師®を起用しています。



おしゃべり広場ホッピングの企画運営

コロナ禍でなかなか子供を連れて遊びに行けない0～2歳未満のお子さんを持つ保護者を対象に、家族以外の誰かとのおしゃべりの場に、また、家から外に出るきっかけとして『おしゃべり広場ホッピング』を企画運営しています。ほぼ毎月各コミュニティセンターなどをお借りし、ドレミひろば以外でも楽しんでもらえるよう手遊びや絵本の読み聞かせ、季節行事の工作をしたりしています。

歯科衛生士による歯の相談会などもあり、参加の保護者には子育ての悩みを聞いたり話したり、気軽に雑談ができる環境で親子で遊んで楽しんでもらえる広場を開催しています。



女性の就労支援事業（保活・両立支援）

●保活・両立相談を実施

【子育てママパパ個別相談】

子育て中のママパパを対象に対面またはオンラインでの個別相談を行っています。

育休復帰経験スタッフ、
キャリアコンサルタントがサポートしています。

- 就職活動の進め方
- 復職相談
- 保活相談
- 仕事と子育ての両立不安
- キャリアデザイン
- 夫婦問題

などについての相談に対応しています。

【企業様向けの保活支援・定着支援サービス】

ホッピングが企業と従業員の架け橋になり、
優秀な人材を継続して雇用できるようサポート。

- 保育施設の選び方やさまざまな預け先の情報提供
- 育児休暇中から復帰後も継続して個別相談を実施

保活支援・両立支援を同時に行うことにより、企業の「大切な人材の確保」をサポートします。



●保活支援のためのCheck list bookの提供

復職、再就職を目指す子育て世代にとって、避けては通れない「保活」。「保活」を始める時に、すべきこととタイミングが一目でわかるCheck list bookを1冊100円で販売しています。

「保活」に役立つ情報もたくさん掲載し、保育施設見学时に、チェック項目を書き込んでいける見学チェックシートが複数ページついています。保育施設を比較する際に役立てていただいています。



● ワーママコミュニティ

産休・育休カフェの開催

2020年6月から2021年2月までの月1回開催 (全9回)

産休・育休中のかたを対象にテーマを決めた交流会や、夫婦向け講座を実施しました。

産休・育休からの仕事復帰にむけて、ママ自身の準備のサポートはもちろん、パパの気持ち改革もサポート。仕事、両立、育休明け後・子育てだけではなく、夫婦問題、健康問題にも目を向け、子育て世帯のキャリアと、ライフと、ヘルスをトータルでサポートし、共働き世帯に必要なノウハウをみんなで共有、働くママの仲間づくりを応援する「自助共助コミュニティ」の場となりました。

10月、11月はヘルスワークショップを開催。12月の交流会は対面とオンラインの同時開催。社会情勢を踏まえ、1月、2月はオンラインのみで開催しました。



● 和歌山県再就職支援センターにて

おしゃべり交流会の開催

(2020年10月~2021年9月まで毎月1回)

近い将来働きたいと考えている女性・子育て中の女性を対象とした情報交換・おしゃべり交流会を毎月実施しています。交流会と共にミニセミナーも企画・開催しており、ホッピング登録ママ講師®の活躍の場にもなっています。

コロナ禍において昨年同様、Zoom会議システムを使ったオンライン交流会を行いました。



ママ講師®とは

趣味・特技を活かして日々活動されているママをホッピング登録ママ講師®として登録。

「子育て中だって自分磨きをしたい!」「未来の私にプラスになる活動をはじめたい!」そんなママたちが集まる自助共助コミュニティです。

これから何か始めたい!というかたから、起業を目指す方まで、ステップに応じたサポートをしています。(2020年10月から2021年9月期 登録者数 33名)

今年度はママ講師事業で受賞させていただいた2019年度「近畿ろうきんNPOアワード」の助成金を活用し、プロフィールブックの増刷やママ講師紹介動画の作成など、例年よりも事業規模を拡大して実施することができました。

1) プロフィールBOOKの作成

ママ講師®地域社会とを繋げるためのサポートとして、ママ講師®たちのプロフィール、写真、活動経歴、資格等を掲載して冊子にまとめて、行政・企業等に配布しました。



2) ママ講師®交流会の開催 (月1回)

いろいろなジャンルのママ講師®が集まって、意見交換や子育てしながらの活動の悩み相談など講師同士の交流の場となっています。先輩ママ講師®からのアドバイスがもらえたり、交流会に参加することで仲間が増えたり、活動の幅が広がっていきます。状況に合わせリアル×オンラインで交流会を開催しました。



3) メールマガジンの配信、Facebookグループでの情報共有

月に1回から2回、事務局よりお仕事や子育てイベントなどの情報を掲載したメールマガジンを配信しています。ママ講師®だけが参加できるfacebookグループでは、講師同士の情報共有、交流の場となっています。

4) ママ講師®の企業への派遣・紹介

行政、企業、グループからの要請に応じて、学習の場へ講師として紹介しています。

5) ママ講師®アカデミーの開講 (年4回)

家庭と仕事を無理なく両立するために、自分らしい生き方、働き方を考え、子育てママがつまずきがちな、家族の理解や自分自身の心の整理をし、「見える化」することによってblank中の不安要素を取り除き、前向きな社会参加ができるよう様々なワークショップを開催。状況に合わせてオンラインでも開催しました。



6) ママ講師®をYouTube動画で紹介

プロフィールBOOKでは紹介しきれないママ講師®達の活動内容、熱意や人柄がよく伝わるようにと講師それぞれのインタビュー動画をホッピングチャンネルにて公開。



7) 2021年7月31日、8月1日

第2回『遊べる！学べる！癒される！ファミリーフェスタ byホッピングママ講師®』開催

ママ講師®によるイベント、「ファミリーフェスタ」は日頃から子育てに奮闘するママやママを支える家族が、より【子どもと過ごす時間】と【ママのやりたいこと】のどちらも大切にする生き方を応援するイベントです。昨年はコロナ感染症の影響で中止になりましたが、今年は2日間に亘ってオンラインにてイベントを開催しました。

協賛いただきました企業の皆さま、まことにありがとうございました。



来年度はママ講師の仕組みを全国へ広げようと、ただいまプロジェクトメンバーで準備をしています。

「SDGs de 地方創生カードゲーム」体験会開催

「SDGs de 地方創生カードゲーム」

SDGs(エスディーゼイズ)とは「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称。国連で合意された世界共通の目標です。カードゲーム体験会ではプレーヤーは街の住民と行政担当者です。互いに協力しながら街づくりをしていきます。「若年人口」、「経済」、「環境」、「社会」の4つの指標があり、人口が増えるプロジェクトを行わないと、人口が減少し、行政に入る税収も減ります。そうすると、住民は補助を受けにくくなり、プロジェクトの実施が困難になってきます。「どのようなプロジェクトを行うと若年人口が増えるか」を考えながらゲームを進めていきます。



SDGs de 地方創生カードゲーム 体験会in和歌山

2021年7月6日(火)10:00~13:00



ホッピングが主催し、SDGs de 地方創生公認ファシリテーターである理事長の貫名茜がファシリテーターを務め、これまでに3回のカードゲーム体験会を開催しました。

起業家、主婦、会社員、学生、毎回幅広いジャンルの方が集まり、会場では様々な意見が飛び交っていました。

- このイベントを通してSDGsの本質を学べた。
- 実生活に落とし込める素晴らしいカードゲームだと思います。
- 初対面でも同じ目標に向かうと自然と対話のできたので楽しかったです。
- 小さなことでも出来る事を行動にすることで、地方を、地球を変えることも不可能ではないし、つながっていくんだと思えた。

皆さんとの対話を通してたくさんの学びと気づきがあり、毎回あっという間に3時間が終了しています。



2021.7/6(火)



みんなでハッスルしなさい!



和歌山市より依頼を受け、委託実施計画に基づいて育児援助・家事援助が必要な家庭にヘルパーとして訪問しています。

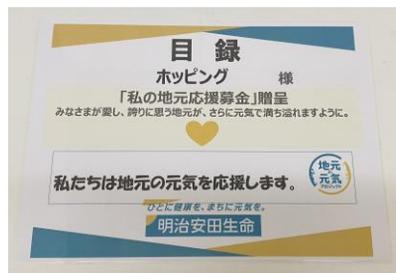
ご寄付の活用について

1) ホッピング託児費用サポート基金

2020年8月ホッピングの賛助会員である明治安田生命保険相互会社和歌山支社様よりいただいた「私の地元応援募金」によるご寄付を資金にNPO法人ホッピングが企画運営しています。

コロナ禍で生活していく上で今までのように子どもを連れて行けない場所や機会が増え、周りに子どもを預かってもらえず、託児を利用せざるを得なくなった保護者に対し、託児費用の全額または一部を補助するサービスを開始し、たくさんのかたにご利用いただきました。

初めて託児を利用するきっかけになったり、子育て世帯へのこのような形でのサポートへの感謝の声をたくさんいただいています。



2) 2021年4月 イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンによるご寄付

全国のイオンで開催されている「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」に2016年度より参加させていただいています。

イオン様がされている社会貢献のひとつで、毎月11日、お買い物の際に発行される黄色いレシートを、応援したい団体の投函BOXにいれると、レシート金額の1%がイオンさんから団体に寄付していただける。という仕組みになっています。

いただいた寄付金は「和歌山市地域子育て支援拠点ドレミひろば」で使用するおもちゃや備品の購入にあてさせていただきます。

